

## 特別企画

## 国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に関する 国際家政学会 (IFHE) の意見表明書草案 [その2] 目標1と目標3に関する草案の概要

日本家政学会国際交流委員  
井元 りえ (女子栄養大学)

### 1. はじめに

この特集は、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に関する国際家政学会 (IFHE) の意見表明書草案<sup>1)</sup> についての概要を3回にわたって紹介するものである。この企画を契機として、学会員の皆様に IFHE のこの取り組みについて興味を持って頂き、今後の IFHE の活動に積極的に関わって頂くことを目的としている。第2回目の今回は、目標1と目標3に関して述べる。

### 2. 目標1とターゲット

まず、国連の SDGs 目標1と、そのターゲットは以下の通りである。

目標1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

- 1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
- 1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
- 1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。
- 1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。
- 1.5 2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性 (レジリエンス) を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽

減する。

- 1.a あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの相当量の資源の動員を確保する。
- 1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。

出典：国際連合広報センターホームページ

### 3. IFHE 意見表明書草案【目標1あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる】の一部和訳

目標1に関する IFHE 意見表明書草案の一部を著者が和訳し、以下に紹介する。

家政学、そして IFHE や世界中の IFHE 会員の仕事に関連するこの問題の概観 (5 ページ21行目～7 ページ10行目)

世界中の家政学者は、毎日多面的な専門的仕事を通じて貧困の減少に貢献している。家政学は常に、家族の生活の質、持続可能な生活、および資源の責任ある利用に関わってきた。家政学は日常生活の経済的、社会的、生態学的観点に焦点を当てた独自の研究分野と見なされている。日常生活は家庭において送られる。家庭は社会と経済の基本的・本質的な構成要素であり、家庭において家族員は行動、消費および経済的活動に関する意思決定をする。家庭の主なそして基本的な目標は、家族員のニーズを満たすことである。基本的なニーズは、空気、食べ物、水、衣服、住居などの物理的なものである。さらに、人間は誰もが安全でありたいと努める。「安全性」は、戦争、自然災害、政治的不安定性、あるいは暴力のような出来事によって破壊されないような物理的安全を含む。さらに、経済的な安定と共に健康やウェルビーイ

ングはすべての個人にとって最も重要な基本的ニーズである。

家族員は、内部の家族資源（時間、コンピテンシー、マンパワーなど）を外部の資源（自然、製品、政治的権利など）と結び付け、家族員それぞれのニーズや生存のための目標を達成するために諸状況を組み立てる。これに基づき、家政学の視座から、貧困の状態に対して貢献するための二つの主要要素がある。一つ目は、世界の多くの国々で現実となっている基本的な資源へのアクセスや結びつきに関する不安定な構造的状況である。貧困は、しばしば、雇用機会の欠如、経済的権利の欠如、社会保障制度の欠如（特に女性に対する）、不安定な政治的状況、戦争や災害からもたらされる。家庭はニーズを満たすために社会的、政治的、経済的、生態学的環境と関わるため、その行為は社会経済構造に強く依存している。

二つ目の要素は、個人や家族員の特徴、態度、コンピテンシー、教育、家族員同士の関係に依存している。これらの事項は、家庭の経済的、社会的尺度に影響を与えている。先進国および発展途上国の両方において、家庭の多くの問題は、人間関係のスキルの乏しさや、家庭資源の不適切な管理や適用から起こっている。家族と家庭の目的を達成するために、念入りで責任ある方法で家計、健康、栄養、住まい、買い物のニーズを管理する必要性があることは、しばしば過小評価されている。

貧困を乗り越えるための家族と家族員に焦点を合わせた活動は、すべての人々に対する日常生活の管理についての教育の内容や文脈に基づいている。その枠組みが存在していれば、貧困を克服する基礎が確立され、望ましいパターンとしての持続可能なライフスタイルを導き、家族の貧困の発生を減少させることになる。

物的資源および非物的資源へのアクセスを持つ、強くそして教育を受けた家族と家族員のみが、家族の世話、社会、地域および経済的プロセスに関わるための力を持つだろう。日常生活の管理における力の強化は、家族や個人に教育・助言することを通して、食物生産、母親や家族の健康、能力開発などの家政学の諸問題において有益な結果に導く。この教育は、田舎の人々、都会の貧困者、定住していない移民、経済的に疎外された政治的犠牲者、退職後に適切な教育を受けていない不安定な高齢者などに関連がある。

開発資源の主要な所有者である政策立案者は、これらの問題を理解するために極めて重要であり、社会的発展におけるこれらの不備を軽減するためにシステムを導入しようとする努力をしなければならない。

教育、根本的な生存情報、地域生活や環境教育、健康やウェルビーイング、経済、紛争がなく人権を広めることに関する政治は、家族の貧困を終わらせる急務に取り

組みための早急な対応にとって重要な分野の一部である。

貧困、教育の欠如、病気、家計や職業の機会へのアクセスの欠如などの影響を受けている除外された家族の現状分析は、SDG 目標1を達成するための戦略として、枠組みの改善や家族、家庭、個人に力を与えることに焦点を当てるべきであることを示唆している。

IFHE, IFHE 会員、家政学による成果の具体例と残っている課題（7ページ11行目～7ページ30行目）

ホームエコノミスト（IFHE 会員を含む）は、貧困を減少させ防ぐために世界中において研究、毎日の仕事、プロジェクトを実行している。主に発展途上国においては、家政学専門家は、持続可能な食料生産および所得創出の代替方法について特に女性たちを教育している。彼女たちは、健康的な栄養、効率的な調理、そして子どもたち（男子と女子）を学校に送り出すことの重要性について訓練されている。

世界中で、ホームエコノミストは、研究や教育プログラム（例えば、負債を避けるための金銭上のリテラシー）を行っている。ホームエコノミストは、負債カウンセラーや家族アドバイザーとして、貧困から脱出する方法を示したり、金銭トラブルや社会的排除に直面している家族に対し積極的に支援したりしている。

IFHE は、IFHE 評議会やプログラム委員会によって行われる国連への意見表明、報道発表、ワークショップを通して、貧困を根絶するためのホームエコノミストの貢献を促進している。IFHE 代議員は、国連の家族と貧困に関する NGO 専門家グループにおいて、家政学のポジションを最も高い政治的レベルとして明確に示し促進するために、積極的に働いている。

（目標1に関する草案の一部和訳終わり）

#### 4. 目標3とターゲット

次に、国連のSDGs 目標3と、そのターゲットは以下の通りである。

##### 目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

- 3.1 2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。
- 3.2 すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。
- 3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶すると

ともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。

- 3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
- 3.5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
- 3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
- 3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
- 3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する。
- 3.9 2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
  - 3.a すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
  - 3.b 主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定 (TRIPS 協定) 及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特にすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定 (TRIPS 協定)」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。
  - 3.c 開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。
  - 3.d すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

出典：国際連合広報センターホームページ

## 5. IFHE 意見表明書草案【目標3あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する】の一部和訳

目標3に関するIFHE意見表明書草案の一部を著者が

和訳し、以下に紹介する。

IFHE, IFHE 会員, 家政学による成果の具体例と残っている課題 (22ページ22行目~24ページ21行目)

100年以上の間、家政学および家政学(家庭科)教育は家族に力を与えることを目的としてきた。幅広いテーマと分野を持つ家政学および家政学(家庭科)教育は、様々な健康の側面において影響を与えている。

家政学の学問分野は、日常生活や健康問題に関して多様な視点で焦点を当てている。以下はその事例である。

- ・最も重要な分野は食料安全保障と栄養であり、健康的なライフスタイル、健康への因果関係や、あるいは他方で栄養不良やその結果としての非感染症疾患などと関連がある。食料安全保障および(あるいは)栄養に関する他の視点は、食品アレルギーや、長寿やウェルビーイングに対する健康的な栄養の影響である。研究結果は、健康的な栄養や食事に関する有益な助言やプログラムに導いている。
- ・もう一つの健康に関する家政学の学問分野は、家庭の科学技術(Household Technology)である。伝統的な調理から出る有毒ガスに日常的にさらされていることは、世界最大の、しかしほとんど知られていない殺人的行為である。この刺激性の煙が、肺の奥に侵入し、小児肺炎、肺がん、慢性閉塞性肺疾患、心臓病といった多くの致命的な慢性の深刻な健康への影響を与え、また伝統的な調理コンロから出る有毒なガスを吸い込んだ妊婦から生まれる子どもたちに低体重を引き起こす。その証拠は確かであり、切実である。家庭の空気汚染を公表することは、毎年予防できる病気が死が驚くほどの数があることへの責任を負っている。
- ・家庭の科学技術の研究によれば、きれいな調理コンロは、家政学教育を通して開発され、推進されてきた。家庭の科学技術はまた、腰痛のような身体的病気や傷害死亡のような家庭の事故を防ぐための安全な作業空間のため、安全な家庭機器や科学技術の向上に焦点を当ててきた。
- ・衛生学は、家庭のみならず、特に病院、老人ホーム、あるいは多くの人々が共同で住む住居のために、家政学の研究の中心的テーマである。これらの組織的住居の中の食事区域の他に、洗濯と掃除の分野が感染症疾患に関連して重要である。子ども、不健康な人、高齢者は非常に感染症疾患にかかりやすい。衛生学における研究は、家庭のすべての種類の掃除プロセス、食品加工、保育、高齢者介護、そして大部分の入院患者のために、重要な規則や助言へと導いている。
- ・もう一つの重要な健康に関連した家政学の学問分野は繊維である。繊維は、布や装飾としてだけでなく、下着、寝具、タオル、介護や医療手当のためなど、家庭

において多くの方法で用いられている。家庭のすべての繊維は、異なる仕事を果たし、感染症や病気を避けるために清潔でなければならない。繊維と家庭の科学技術における研究は、特別な繊維や繊維の洗濯プロセスを開発するために重要である。そのため、繊維の機能は最適化され、洗濯プロセスは衛生基準を満たす。その衛生基準は、台所、浴室、トイレ、医療手当てのための部屋における汚染された繊維を通した感染症を避けるために必要なものである。

- ・ 家族の社会的状況に関連して、ワークライフバランスとストレスの視点は、健康的な社会的枠組みに貢献するため、家政学研究にとって重要な視点である。
- ・ 健康的な生活を改善するための非常に重要な家政学研究の分野は、家政学（家庭科）教育である。教育における家政学は、教育方法、ベストプラクティス、教科書の開発に関連している。家政学（家庭科）教育の目的は、子ども、生徒、女性が知識とスキルを向上させ、家庭経営コンピテンシーを開発し、それによって彼らが食品加工、育児、住居や衛生、清掃などの家庭のプロセスを運営することができるようにすること。さらに感染を避けるための繊維の洗濯、家族の基本的ニーズを満たすような健康な食事をすることができ、また家族員のウェルビーイングを向上することができることにある。家政学（家庭科）教育における研究の結果は、SDG3を達成するために重要な役割を演じる。なぜならば、家族員は、健康で持続可能な方法により生活を営むための家政学リテラシーに達するための知識とスキルが必要であるからである。
- ・ 100年以上にわたり、国際家政学会（IFHE）は、家政学研究を促進してきており、会議、シンポジウム、IFHE 世界大会で科学的知識の情報交換を行ってきた。加えて、IFHE は革新的な結果を特別な IFHE のウェブサイトや国際家政学ジャーナル（IJHE）や特別なテーマの出版として発行している。

#### IFHE とホームエコノミストにとって残っている課題（26 ページ27行目～27ページ24行目）

- 世界のホームエコノミストと IFHE は、SDG3をサポートするために以下の努力を強化するだろう。
- ・ 栄養、衛生学、公衆衛生、健康促進などの関連する研究分野における科学研究。特に、伝染性の病気や感染症を減少させ、防ぐため。
  - ・ 健康的なライフスタイルを向上させ、また感染症を防ぐための家政学（家庭科）教育。
  - ・ 健康的なライフスタイルや、薬物・タバコ・酒の使用

によって導かれる結果、および感染症を防ぐことに関する助言や言及を守るように個人と家族の自覚を促すこと。

- ・ 以下のすべてのレベルにおける支援運動と要求、すなわち
  - SDG3のための行動をとるため、
  - WHO（世界保健機関）の計画と提案を支援するため、
  - 必要な基本的状況と構造を構築するために、関連する SDGs を達成するための効果的な法律文書を用いた措置をとるため、そして、
  - SDG3に貢献するような家政学（家庭科）教育をサポートし、確立させるため。

上記の通り、家政学（そのすべての側面において）及び家政学のリテラシーは、健康およびウェルビーイングの文脈において、SDG3と SDGs を達成するために、重要な役割を果たす。

ACWW（Associated Country Women of the World）は、「女性から女性への」プロジェクトにおいて、以下のような問題に取り組んでいる。

- ・ 田舎の助産師の訓練すること
- ・ 少なくとも6ヶ月の授乳を母親に勧めること
- ・ AIDS とその他の性感染症に関する認識を高めること
- ・ 清潔な水へのアクセスを向上させること
- ・ AIDS 孤児の世話をしている祖母たちを支援すること
- ・ 危険な農薬に代わる安全な代替方法を進めること
- ・ 健康のために食べ物と影響の安全を向上させること
- ・ 煙の出ないレンガと改良した調理コンロの生産を進めること

（目標3に関する草案の一部和訳終わり）

## 6. まとめ

本稿は、SDGs に関する IFHE の意見表明書草案の中の目標1と目標3の概要について紹介した。

次回（第3回）は、目標5と目標6についての概要を片田江綾子氏が報告する予定である。

なお、IFHE は、リーダーシップ会議（2017年3月23日）において、【目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する】についても、ナイジェリアの Patricia Etuna Mbah 氏を中心に草案を作成することを決定した。

<注>

- 1) DRAFTS IFHE POSITION STATEMENTS on the UN SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS, 全77ページ, IFHE 韓国大会において配付